

バス IC カードポイント付与システム・キャッシュレス決済システム開発業務委託 仕様書

1 委託業務名

バス IC カードポイント付与システム・キャッシュレス決済システム開発業務

2 委託業務の目的

これまで、八戸市及び八戸圏域において、バス交通の持続性を高めることに主眼を置いた路線再編事業の取組と共に、市内幹線軸における共同運行・等間隔運行や、市内上限 320 円（圏域上限 520 円）、特別福祉乗車証制度、各種モビリティマネジメントなど、利便性向上や利用促進に繋がる様々な取組を展開してきている。これら取組の効果としては、利用者数や運賃収入の一定の確保に繋がったことに加え、中心街等への来街者の増加（経済的効果）や、高齢者の健康寿命の延伸（福祉的効果）、居住誘導区域の利便性向上と定住促進（都市計画上の効果）など、多分野のまちづくりへの波及効果が生じていることが予想されるものの、定量・定性的にその効果が把握できていない状況にある。

これらのまちづくりへの波及効果を的確に把握した上で、今後の政策立案や施策実施の判断を行う際に活用することが必要であり、そのために都市活動や人流をデジタルデータ（以下、「都市・交通データ」という）を用いて可視化・分析することが有効と考えられる。

本業務は、本市における今後の都市づくり・公共交通づくりの施策・政策立案に繋げるため、市内各主要施設にキャッシュレス決済に係る設備を設置し、（仮称）八戸ポイント（地域通貨）の付与等でインセンティブを与え、IC カード（ハチカ）の利用促進を図るほか、高齢者や IC カードに不慣れな市民等に対し、市庁舎内のサポートブースにおいてハチカ利用方法等に関するサポートを行い、ハチカの普及・利用促進とデジタル化の促進をサポートする。

さらに、バス乗降データと GIS データ、人流データをミックスし、データの分析・活用に関する検討を行い、交通政策の効果シミュレーションやバス路線最適化等の施策立案を行うことを目的とする。

3 対象地域

青森県八戸市

4 委託業務の内容

（1）計画準備

本業務内容を十分把握した上で、作業上問題を生じないように計画を立案し、発注者との協議により作業を円滑に進めるため下記書類を作成し、発注者と十分な打合せを行う。

- ・業務計画書
- ・着手届

・ 工程表

(2) (仮称) 八戸ポイント付与及びキャッシュレス決済システムの設置

① (仮称) 八戸ポイント付与端末設置及びポイント運営

ハチカ利用者を増加するために、市指定の施設において、ハチカにより利用料を支払った場合に、ポイント付与をする仕組みを構築・運営の支援を行う。

※総額 200 万ポイント（円）分を利用者へ配布する予定。

②キャッシュレス決済システム端末設置

市指定の施設へキャッシュレス端末を設置し、キャッシュレス支払いの支援を行う。

市内 12 施設程度に設置を予定

※支払い種類は、「交通系 IC カード」「クレジットカード」「QR コード支払い」等に対応すること。

(3) ハチカサポートブースの運営

①高齢福祉課等窓口での広報活動

高齢福祉課等前に専用ブースを設け（常駐 1 名）、パンフレットや模擬カードリーダーを活用し IC カード利用方法の説明を行う。

②バス車内・バス停での乗降者サポート

バス停・車内にスタッフを配置し（2 名）、乗降者のサポート等をするとともに、バスパックの周知など新規需要の発掘も行う。

(4) データ利活用の方針検討業務

①関係者ヒアリング

データ利活用に求める事項や実現したいこと等を把握するため、公共交通事業者の他、市関係部署や商工・観光関係団体などへのヒアリングを行う。

②国内外のデータ利活用事例調査

本市での都市・交通データ可視化・分析システム構築の検討に役立てるため、国内外におけるデータ利活用事例や民間企業によるシステム・ツール開発状況を調査・整理する。

③必要となる機能・データの整理

①②を踏まえて、都市・交通データ可視化・分析システムに必要な機能（可視化・分析要件、ダッシュボード機能、画面構成、UI 等）の検討を行う。

また、可視化・分析に必要なデータについても、その保有・取得形態（オープンデータ、保有データ、新たに取得・購入するデータ等）ごとに整理を行う。

(5) 必要なデータの収集・整理・加工業務

下記データについて、必要な手続きや対応を行ってデータを取得し、可視化・分析を行う準備のためのデータ整理・加工を行う。

新たに取得するデータとして「(仮称) 八戸ポイント付与」の仕組みを用いたデータ収集を行うため、端末設置及びサポートブースの設置を行うものとする。

- ・オープンデータ（運行データ及び都市データ）
- ・保有データ（自治体・交通事業者・民間・国道事務所等）
- ・新たに取得・購入するデータ（(仮称) 八戸ポイント付与、GPS 位置情報データ等）

（6）データ可視化・分析システムの構築業務

①「可視化機能」及び「分析機能」の実装方法の検討

既存システム・ツールの活用や新たな開発等を含めて、「可視化機能」及び「分析機能」の実装方法について、複数パターンの比較検討を行う。

②データ可視化・分析のシステム実装

①で比較検討した実装方法の一つについて、実際の本市の都市・交通データを活用して再現できるようシステム実装を行う。

（7）システムを活用したデータ分析・活用検討業務

①都市・交通データの可視化・分析（サイバー空間での再現）

構築したデータ可視化・分析システムを用いて、本市における都市活動及び人流（公共交通等）の実態を可視化・分析する。可視化にあたっては、地図上での視覚的な表現、データフィルタリング及びグラフ化、各種データの重ね合わせなどを行い、都市・交通分野における現状・課題の把握に役立てられるものとする。

②都市・交通に係る現状・課題の把握

現時点で把握している都市・交通に係る現状・課題を加味しつつ、データ可視化・分析した結果を用いて既存課題の検証や、新たに抽出される課題を整理する。

③交通課題の解決に向けた施策・政策立案

抽出した課題等の解決に向けて、施策・政策立案を行う。

なお、交通課題の解決に向けた施策・政策立案にあたっては、現在策定中の八戸圏域地域公共交通計画において実施を見込んでいる施策についても対象とする。

④交通政策の効果シミュレーション

分野等を跨る施策を実施した際の波及効果を定量的に把握する。特に、現在策定中の八戸圏域地域公共交通計画において実施を見込んでいる施策について、その実施効果を把握・検証する。

（8）MaaS 検討会議（仮称）の開催支援

データ利活用の方針検討やデータ分析・活用検討などについて議論するために、有

識者や交通事業者、関係団体で構成する「MaaS 検討会議（仮称）」を開催する。本業務では、検討会議の資料作成、議事録作成など、事務局の運営を支援する。

- ・開催：3 回想定

- ・メンバー（候補）：有識者、交通事業者（鉄道・バス・タクシー）、関係団体、八戸市等

（9）中心市街地デジタルコンテンツ検討会議（仮称）の開催支援

中心街におけるデジタルコンテンツ活用などについて議論するために、有識者や商工会議所、関係団体で構成する「中心市街地デジタルコンテンツ検討会議（仮称）」を開催する。本業務では、検討会議の資料作成、議事録作成など、事務局の運営を支援する。

- ・開催：3 回想定

- ・メンバー（候補）：有識者、商工会議所、関係団体、八戸市等

（10）報告書作成

以上の結果をとりまとめ、報告書（成果品）を作成する。

5 打合せ協議

業務を円滑かつ効果的に遂行するために、着手時 1 回、中間 3 回、最終納品前 1 回の計 5 回程度、市との協議打合せを行う。（中間 3 回については WEB 対応可）

6 業務の履行期間

本業務の履行期間は、契約の日から令和 5 年 3 月 31 日までとする。

7 成果品

本業務の成果品は以下のとおりとする。

- ・業務報告書 2 部
- ・電子記録媒体（CD-R 等） 1 式